

栃の木からの手紙

2024年 水無月 6月号



- 5日： 芒種
- 6日： 新月 旧 5月 1日
- 21日： 夏至
- 22日： 満月 旧 5月 17日
- 23日： 沖縄慰霊の日

5月11日、有機JAS畑の整地作業を始めました。畑の表面は乾いていますが内部はまだ水分が多い感じです。李の花は満開状態。



5月13日、慣行畑に隣合う有機畑に緩衝作物としてヒマワリを66cm幅で4列播種しました。発芽は5月23日頃。早い物は、発芽して頭をハトに食べられている物も見受けられます。種は、去年の物が大量に残っています。



5月15日、中古の豆播種機をデントコーン様に畝幅72cmに治して初めてのデントコーン栽培の播種を始めました。2町程の畑を殆ど1日掛けてゆっくりとゆっくりと作業しました。

種も、5万粒3袋で丁度良い購入量でした。芋を作付していた時は、枕地の作付はしていませんでしたが今回はしっかりと端まで播種しました。

李は白い花が散っていて葉の緑が目立っています。作業を終了してカッコウ鳥の仲間のツツドリの初鳴きを聞きました。カッコウは17日に初鳴きでした。エゾ春セミも17日に初鳴き。翌日、姿をみました。



デントコーンは25日には発芽を始めていて末日には、各

畝に緑の筋が見えています。先づは一安心。



【 赤ビーツ移植 】



5月20日、赤ビーツを移植する為の床作りとして、66cm幅で8列、土をかまぼこ型に盛上げました。

4月13日に播種

4月30日に間引き

5月18日に予定していた移植作業を一週間延ばし

5月25日（土）赤ビーツ移植

この所、雨がちで25日の作業も内心心配でしたがビーツの苗外しが完了出来れば翌日に自分で移植出来ると考えて作業を進める。



25日朝から研修生の方たちと4人でビーツの苗を外して移植の準備を進めて72枚のトレー（128本×72枚=9216本の苗（無い所もありますが））を昼前には完了しました。同じ品種の苗ですが外した苗の根を見ると色の違いが様々です。不思議！

そして昼休み。雨が降っているのです。13時頃には止む予定。畑に機械を入れられない状態ではないので昼休みに畑で移植の準備を済ませ、午後は、まだ雨がぱらついていましたが移植作業を始めました。



8列のビーツの畝。1往復1時間足らずで17時に完了できる予想を持って作業を進め、無事に30分も早く作業を完了できました。それにしても、雨の影響で畑の表面は固くなってきています。ひまわりやデントコーンも発芽を始めていますが心配なところです。